



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



令和 6 年 5 月 29 日
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

災害に備え、「災害対策車両の操作訓練」を実施

地域を守る建設業協会とタイアップ！

大雨・地震等の災害発生時に備え、応急対策業務が円滑・確実に実施されるよう、（一社）愛知県建設業協会及び（一社）岐阜県建設業協会と災害対策車両の操作訓練を実施します。

1. 概 要

- 木曽川上流河川事務所と一般社団法人愛知県建設業協会及び一般社団法人岐阜県建設業協会は、災害の拡大防止と被害施設の早期復旧に資することを目的として災害時の協力に関する協定を締結しており、災害発生時には協定に基づき木曽川上流河川事務所がそれぞれの建設業協会に出動要請を行い、建設業協会が応急対策等を実施します。
- 本訓練を通じて、災害時に出勤していただく各建設業協会会員企業の方々に、災害対策車両の操作方法を習得・習熟していただき、災害発生時の応急対策業務を円滑・確実に行い災害による被害の軽減や排水活動をより効果的に行うことを目指します。なお、本訓練は愛知県・岐阜県を管理区間としている木曽川下流河川事務所・木曽川水系ダム統合管理事務所と共同開催します。

2. 開催日時・場所・参加者

（１）令和 6 年 6 月 10 日（月） 13：00～16：00

さい川さくら公園（岐阜県大垣市墨俣町地内 犀川右岸河川敷）※別紙 3 参照

一般社団法人岐阜県建設業協会

（２）令和 6 年 6 月 12 日（水） 13：00～16：00

長良川防災船着場（岐阜県羽島市桑原町地先）※別紙 3 参照

一般社団法人愛知県建設業協会

3. 訓練内容 木曽川上流及び木曽川下流河川事務所の保有する災害対策車両を用いた操作訓練
※災害対策車両：対策本部車、排水ポンプ車、照明車 ※別紙 4 参照

4. そ の 他 6 月 10 日の訓練を取材希望の方は「別紙 1」、6 月 12 日の訓練を取材希望の方は「別紙 2」による事前申し込みをお願いします。
また、**当日の天候によっては、訓練を中止する場合がございます。**
中止の判断をした場合は、取材登録書に記載の連絡先にご連絡いたします。

5. 解 禁 指定なし

6. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

7. 問合せ先 木曽川上流河川事務所 岐阜市忠節町 5－1

TEL：058-251-1125（流域治水課直通）

副 所 長 桃木 優一

総括保全対策官 井川 陽二

参考 昨年度の様子

- 岐阜県建設業協会との災害対策車両操作訓練



- 愛知県建設業協会との災害対策車両操作訓練



令和 6 年 6 月 10 日（月）

岐阜県建設業協会との災害対策車両操作訓練

取材登録書

標記の取材をご希望される報道機関におかれましては、事前登録のため、本紙にご記入のうえ、期限までに F A X またはメールにて送信をお願いいたします。

期限 令和 6 年 6 月 5 日（水） 12 時 00 分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者

(1)お名前（複数名の場合、代表者名）

(2)ご連絡先 TEL _____

(3)取材人数 _____ 人

※**当日の天候によっては、訓練を中止する場合がございます。**

中止の判断をした場合は、上記の連絡先にご連絡いたします。

【送信先】以下の FAX またはメールアドレス宛にご送信ください。

木曽川上流河川事務所 流域治水課

FAX 番号 : 058-251-1150

メールアドレス : cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

令和 6 年 6 月 12 日（水）

愛知県建設業協会との災害対策車両操作訓練

取材登録書

標記の取材をご希望される報道機関におかれましては、事前登録のため、本紙にご記入のうえ、期限までに F A X またはメールにて送信をお願いいたします。

期限 令和 6 年 6 月 5 日（水） 12 時 00 分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者

(1)お名前（複数名の場合、代表者名）

(2)ご連絡先 TEL _____

(3)取材人数 _____ 人

※**当日の天候によっては、訓練を中止する場合がございます。**

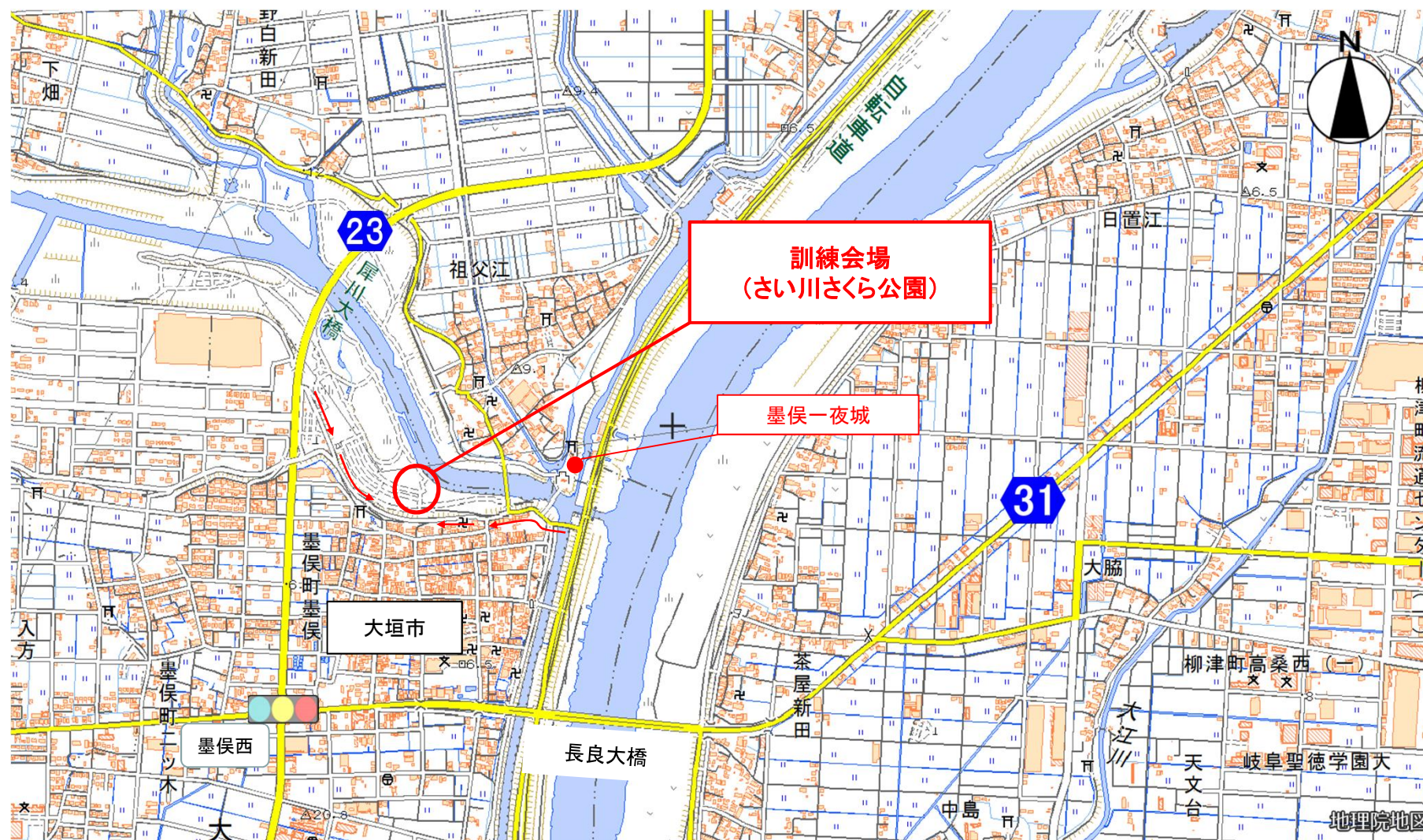
中止の判断をした場合は、上記の連絡先にご連絡いたします。

【送信先】以下の FAX またはメールアドレス宛にご送信ください。

木曽川上流河川事務所 流域治水課

FAX 番号 : 058-251-1150

メールアドレス : cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

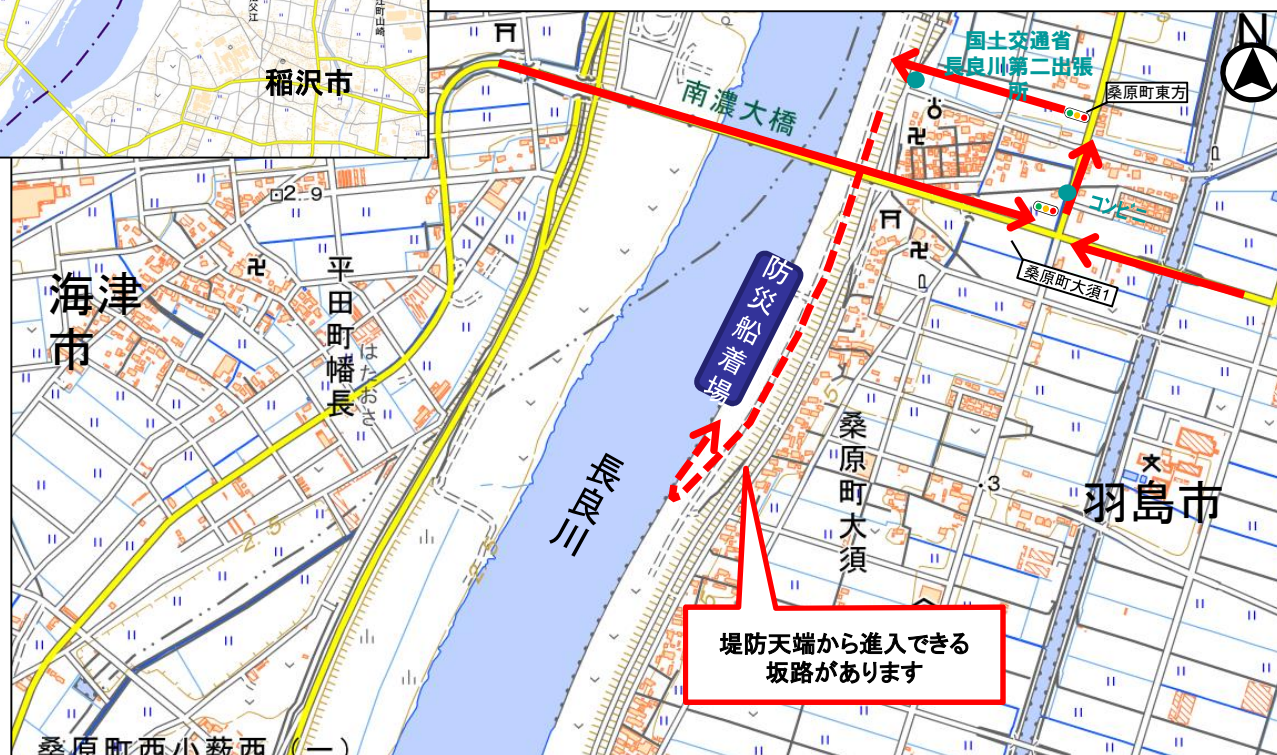


6月12日(水) 長良川防災船着場

別紙3



【広域図】



【拡大図】

さいがいげんば

かつやく

さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車（たいさくほんぶ車）



げんち たいさく ほんぶ

かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡張した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。

無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車（はいすいポンプ車）

やく

から

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本（30m³/分）の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約13時間稼働します。



照明車（しょうめい車）



きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

